



授業参観・学年部会 ～ありがとうございました～

今年度最後の授業参観、学年部会にご参加いただきありがとうございました。各学年の授業では、子供たちがこれまで熱心に取り組んできた成果をご覧いただけたかと思えます。学年によってはお家の方にも授業にご参加いただくなどの場面があり、微笑ましい光景をみかけました。

また、学年部会では、円滑な進行にご協力いただきました。PTA活動におかれましては、本会役員をはじめ、各学年、各部の役員の皆様には、本校の教育活動のために様々お力添えをいただきましてありがとうございました。会員の皆様も、本校の子供たちを多くの側面から支えていただきました。今後も、保護者の皆様と教職員、地域の皆様が手を携え、温かな白根東小学校の環境下で子供たちを支えていけると幸いです。



駐車場をご利用された方は、校庭の線に沿ってきれいに駐車していただきました。多くの台数でも一人ひとりのお心がけで安全に、また整然と駐車されていたことに「さすが白根東小!」と思えます。丁寧に校庭に線を引いた職員の労力も報われます。

人権教室

～ 「いじめについて」考える ～

昨年度に引き続き、1月下旬にはすべての学年・学級で人権教室を行いました。人権教室では、8名の人権擁護委員のみなさんが来校し、「人権」と「いじめ」について、教材を通して子供たちに考えてもらいました。「世界中の誰もがみな、生まれた時から幸せに生きる権利がある」と講師の方々から「人権」についてお話があった後、低学年は紙芝居で、高学年はDVDを見て、いじめをしている人、いじめられている人の気持ちを真剣に想像していました。「自分はいじめているつもりはないのに、いじめられたと感ずることがある」「そこには、私たちにどんな力と心が必要なのか」そんな問いかけに、子供たちは、「相手の気持ちを想像しようとする事の大切さ」「いけないことはいけないと勇気を持って伝えること」に気付いていきました。子供たちの感想には、私たち大人も心がけていかなければいけないことが記されています。

感想の一部を紹介します。



○いじめられている人の気持ちを想像して心の声に気づくことが大切だと思った。もしかしたら自分がしている行動が友達にとってはいやなことかもしれないので、自分の行動を見直したい。

○「やめて」といってもやめなかったら SOSのモニターに書いてそうだしと思った。

○みんなの気持ちを考えて言葉を伝えていきたい。

○自分で言い返す勇気がなくても、先生などに相談することで何かが変わるかもしれないと思った。

○誰かの勇気ある行動で何かが変わるかもしれないことがわかった。いじめは気づかないうちに生まれる空気によってできてしまうことに気づいた。

○自分がされていやなことは、人にはぜったいにしないで、自分がされてよい気持ちになることは人にもする。

○いじめられている人がいたら「だいじょうぶ」と声をかけたいと思った。いじめている人がいたら「いじめはだめだ」と勇気をもって言う。

○人の心の声をしっかりきいて過ごしたいと思った。一人一人の声に気づいてあげられる人になりたいと思った。

○だれもかれも幸せに豊かに暮らすには、相手のマイナスをみるのではなく、相手のプラスをみつけてほめることが大切だと思った。



避難訓練 ～災害に備えて日常の生活でも心がけていこう～

1月の避難訓練は、火災を想定した訓練です。防火シャッターが閉まるという設定で、非常扉を通して避難する訓練をしました。災害が発生すると、普段歩いている場所が通れず、非常扉を利用しなければならない場合があります。今回は非常扉を通るといった慣れない避難でしたが、子供たちは素早く安全に行動することができました。

今年度最後の避難訓練では、子供たちには次のような話をしました。

災害が起きてしまった場合、その後のことも大事。例えば避難所の生活では、水、食料が必要、トイレも、寝るところも必要。掃除も。そういう時こそ、普段みなさんがしている給食当番や係の仕事、清掃活動で培った役割や責任感が発揮できる場面。誰かが何かをしてくれるのを待っているのではなく、自分は何ができるのかを考え、自ら協力して行動していくこと、これらが大事。普段から係活動や当番の仕事はしっかり取り組んでいこう。



東っ子フェスティバル・全校レク

子供たちの楽しそうな表情はいいですね。児童会本部役員が企画した東っ子フェスティバル。6年生を中心に子供たちが楽しめるお店を考え運営しました。各教室や体育館、特別教室に準備された様々な「アトラクション」は、どれも工夫されたものばかりです。たてわり班の1年生から6年生の子供たちが一緒になって楽しい時間を過ごしました。

また、全校レクリエーションの「貨物列車」も笑顔いっぱいでした。体育館いっぱいに連なる子供の「列車」は、とても活気がありました。ルールを守りながら楽しく活動していた子供たち。さすが「東っ子」です。



小中あいさつ運動



1月20日には、小中交流の一環として3回目の「小中あいさつ運動」が行われました。朝早くから巨摩中学校の生徒が来校し、本校の入口に立って「おはようございます」と元気にあいさつをしてくださいました。中学生の頼もしいあいさつに、小学生の子供たちも元気にあいさつを返していました。学校外でも自然にあいさつが交わるよう、大人からも積極的に声をかけていただきたいと思います。

初代校長 松井 渙齋（まつい かんさい）先生の教え

本校の150周年記念誌には、本校の初代校長 松井渙齋（まつい かんさい）先生の教えが書かれています。その一部を紹介します。

恵を施して念（おも）うなかれ、恩を受けて忘るるなかれ

⇒人にほどこしたことを心にとめるな、ほどこしは人を救うためである。又、人の恩徳をうけたらいつまでも忘れてはならない。

よろしく未だ雨降らずして綱繆（ちゅうびゅう）す、湯に臨みて井を掘るなかれ

⇒のどがかわくからといって、急に井戸をほるのではなく、つねづね用心するようにせよ。

歴史ある白根東小学校のことをもっと知りたい方は、ぜひ校長室にいらしてください。

（文責 白根東小学校 校長 小池孝二）



初代校長 松井渙齋先生（本校所蔵）